

審査基準

審査項目	審査の視点	配点	倍数	点数
① 業務実施体制及び業務スケジュール	業務を適切かつ着実に実施できる企画運営能力・実績を持つ人員が配置されているか。	5	1	5
	過去の類似事業の実績から、業務を円滑に行うことが見込めるか。	5	2	10
	行程ごとの業務スケジュールが適切であり、確実な実施が見込めるか。	5	2	10
② 大学1、2年生の低学年次からの市内企業との接点づくり	企業の選定について、市内企業の業種に偏りがないよう配慮され、学生が幅広く企業理解を深められる手法となっているか。	5	1	5
	学生の募集方法について、多くの学生の参加が見込まれる、効果的な募集方法が示されているか。	5	2	10
	接点づくりの実施手法・取組内容について、インターンシップや応募・選考への参加に繋がるよう、学生の志望度向上が期待できる内容となっているか。また、創意工夫が見られる取組となっているか。	5	2	10
	実施時期について、次年度以降のインターンシップ参加に繋がることが期待される、効果的な時期が設定されているか。	5	1	5
③ 大学3年次のインターンシップ受入環境強化及びマッチング支援	企業の募集について、多くの市内企業の参加が見込まれ、かつ学生の応募・選考への参加に繋がるような企業が確保できる募集方法となっているか。	5	1	5
	個別支援の方法について、各企業の事情や課題に応じた支援が行えるよう、柔軟に対応できる体制・手法が示されているか。	5	2	10
	マッチングの手法について、多くの学生の申込を促す、効果的なマッチング手法が示されているか。	5	2	10
	報告会の内容について、学生と企業とのつながり強化や、他の企業への取組展開に繋がる内容となっているか。	5	1	5
	実施時期について、学生の応募や選考への参加に繋がるよう、効果的な時期設定となっているか。	5	1	5
④ 効果検証の実施	効果測定の実施内容が明確であり、その結果が取組の改善に活用できるものになっているか。	5	2	10
合計				100